

2019Japan National Team Report ” サポーター”



J.O.D.A.
JAPAN OPTIMIST
DINGHY ASSOCIATION

報告者氏名	蜂須賀 史絵
大会名	アジア・オセアニア選手権
開催地	オマーン ムッサナ
大会期間	9/30～10/7

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	この時期でも 連日32度以上、湿度80%以上、選手にとっても、サポーターにとっても過酷な環境でした。 ホテルとハーバーのある施設へは空港から車で1時間、施設のまわりには何もなく、車がないところにも出かけられなかったです。
宿泊場所	ホテルとハーバーが同じ施設内にあり、とても便利でした。 プールもあったので、レース後、選手たちのクールダウンに良かったです。 食事は朝夕とビュッフェ形式で、種類も豊富で選手・サポーター共に満足していました。日本から持ち込んだ捕食が大量に余ってしまいました。 ホテルに洗濯機がなく、ホテルに出すクリーニングしかありませんでした。
大会のサポーターへの対応は	特に不満はありません。 サポーターのホテルも同じホテルをリクエストしましたが、大会側からなかなか返事がなかったため旅行会社から同じホテルを予約しましたが、そのほうがかなり安かったです。
選手たちのコンディションいつもどうでしたか？	暑さ・湿度が厳しかったので心配しましたが、選手たちは体調を崩すことなく頑張りました。 少し寝不足の子もいましたが、無理せず休める時間に休んで自分で調整できていました。
サポーターとして気をつけたことは？	厳しい環境でのレースだったので、食事・水分補給には気をつけていました。海上へはポカリ・おにぎり、帰着後30分以内の炭水化物でおにぎりなど。 選手たちも時間的には余裕があったので、すべてのことをやってあげるのではなく、洗濯などできる範囲で自分たちでやってもらいました。手洗いの洗濯も良い経験になったと思います。
海外の選手を見て感じたことは？	積極的。
日本の選手を見て感じたことは？	

Spare dayの過ごし方は？	
日本チームとしての課題はありましたか	
JODAへの要望	
その他	

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会